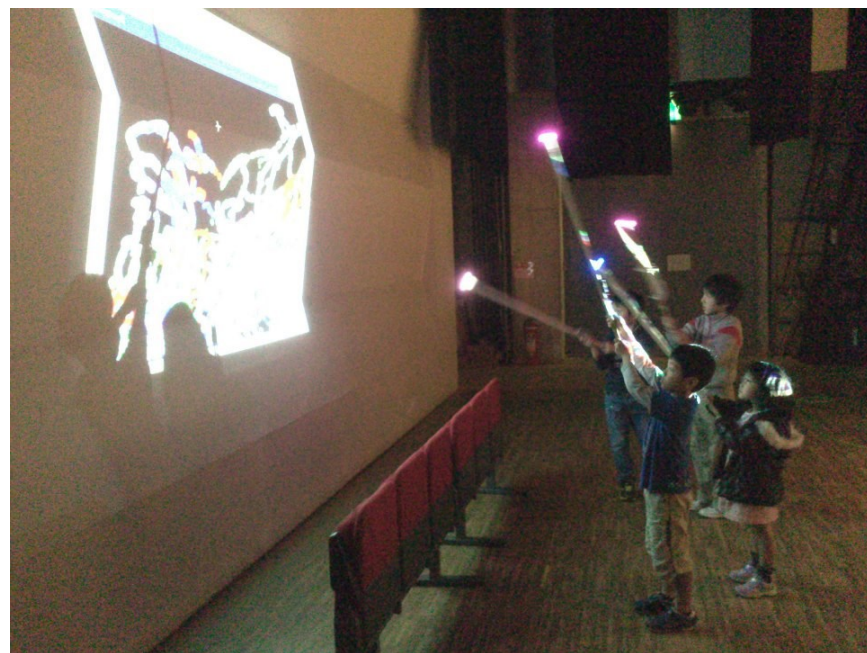
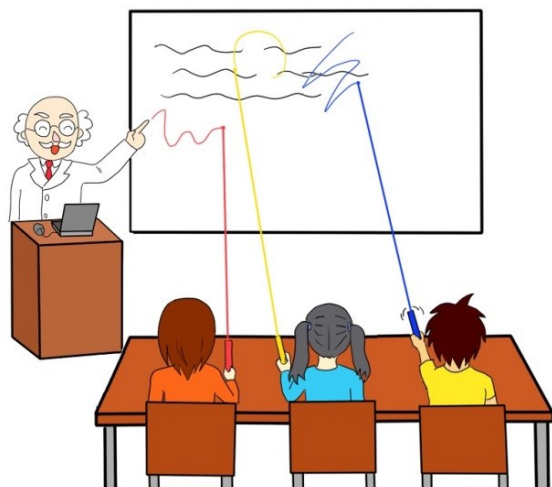


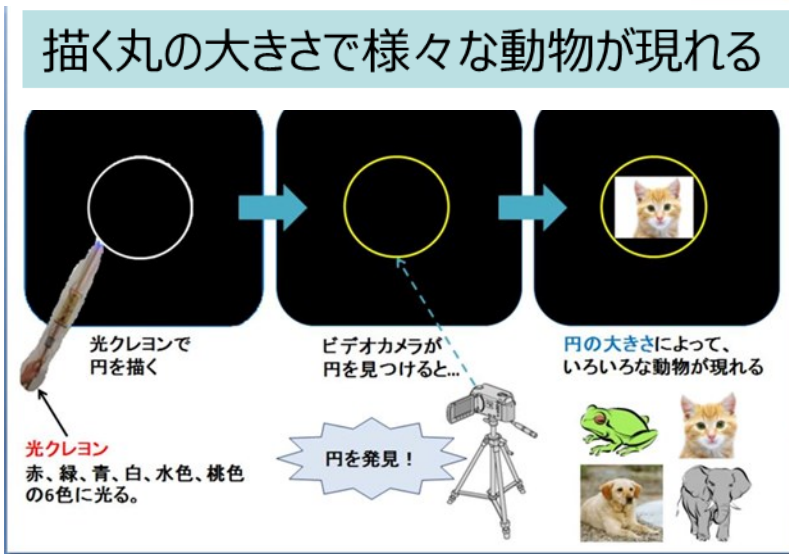
ウルトラ光クレヨン 参考資料

Doilab 加藤太希・土井滋貴

「光クレヨン」は画像センシング技術を活用して光ポインタで直接投影映像に書き込みが可能なインタラクティブなプレゼンテーションシステムです。すでに多くの科学イベント等で楽しんでいただいています。描画者の区別、描かれた絵の認識、を行うことで様々なアクションを追加することができます。



アクションの例



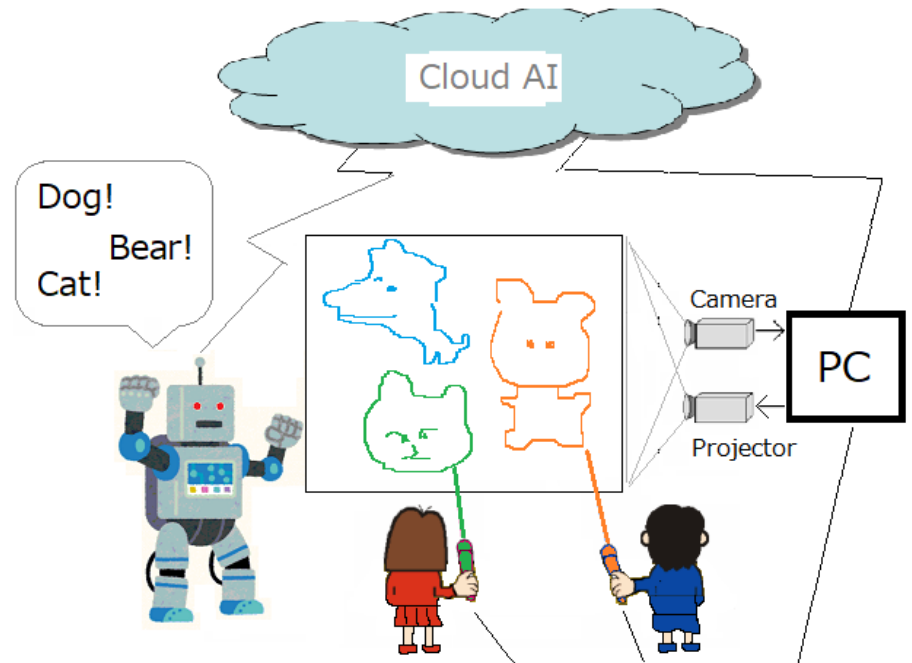
<https://youtu.be/PVC1xhsXXzA>



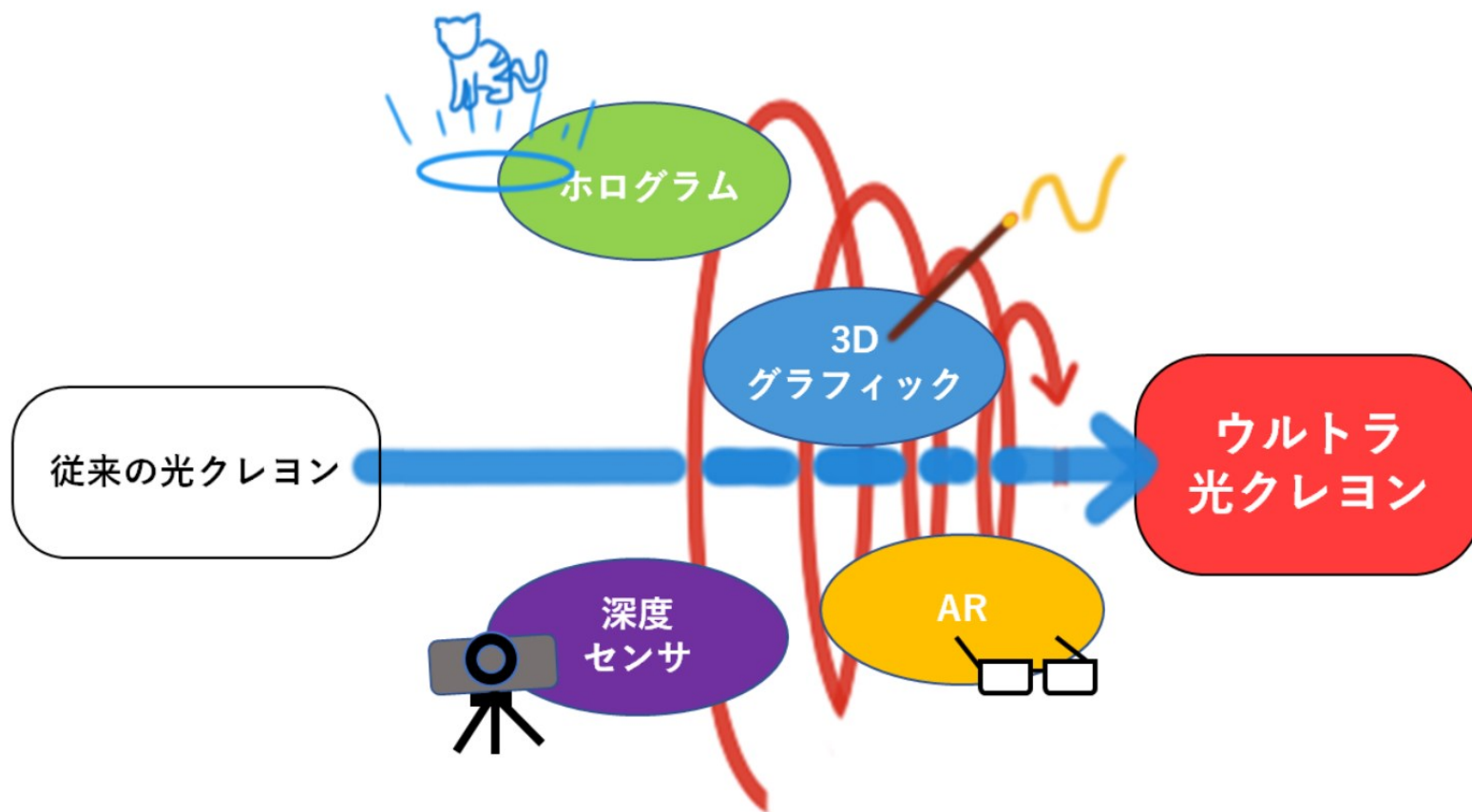
アクションの例

AIのエンターテイメントへの応用：
描画された形状を認識して
アクションを返す。

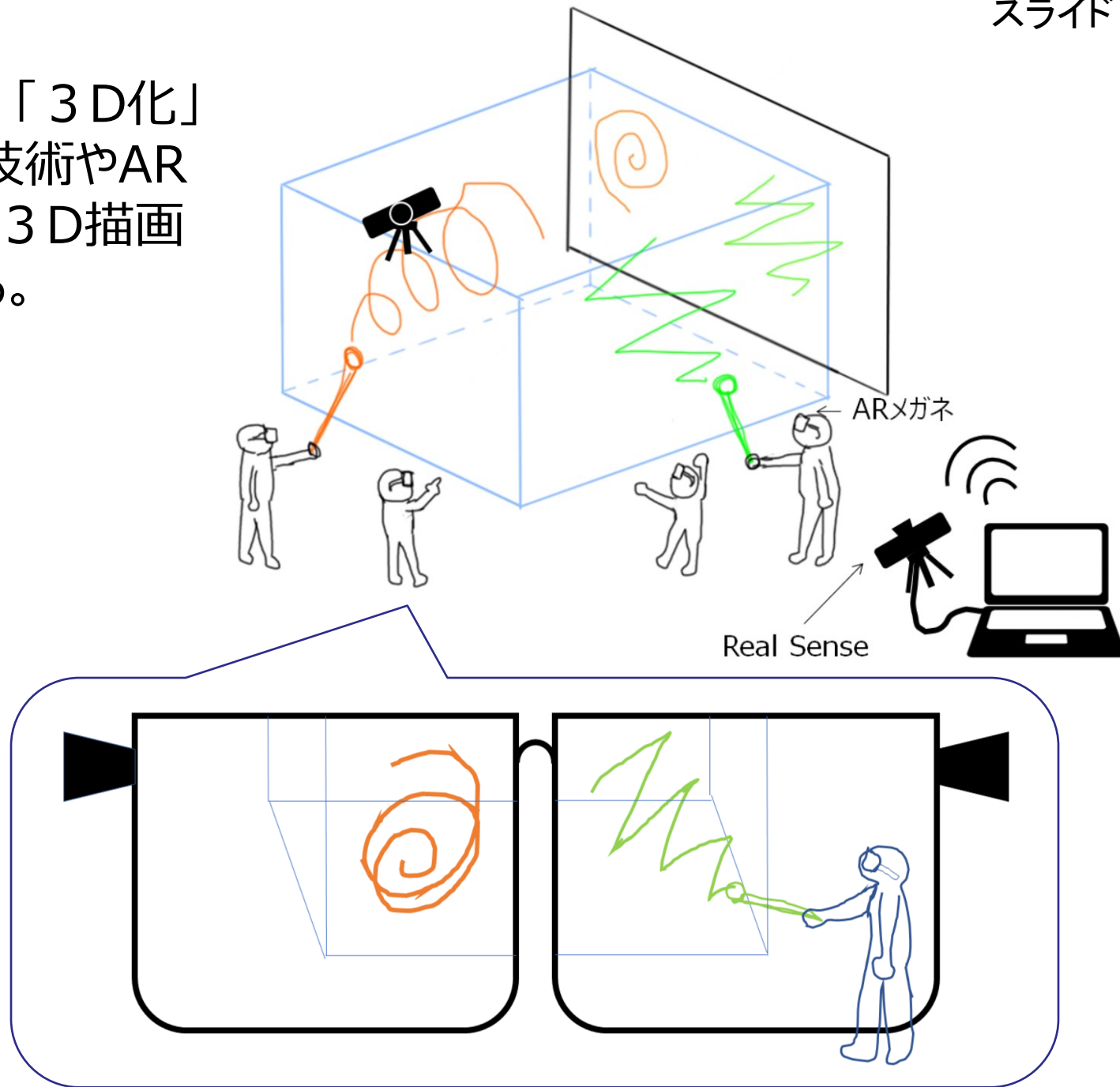
<https://youtu.be/OT5yJ9I2-yM>



「光クレヨン」をベースに3D計測技術やAR技術、自動アニメーションを統合し、3Dと自動アニメーションに拡張する「ウルトラ光クレヨン」。さらなる意外性とエンターテインメント性の向上を目指します。



拡張その1「3D化」
 3D計測技術やAR
 技術により3D描画
 に拡張する。



拡張その2「自動アニメーション」

描画要素から簡単なアニメーションを付加できる要素を取り出し、アニメーションを付加する。



例えば丸なら転がる、顔なら笑う、動物なら鳴くなどいくつかの動きをマッチさせて動画展開する。

カモメが飛んでいくかのような演出

